

## 陳第 1 号

### 天水中学校区小学校統合場所等の見直しを求める陳情

1 陳情年月日 令和 5 年 2 月 1 4 日

2 陳 情 者

3 陳情の要旨 玉名市教育委員会主導により、天水中学校区では小学校の統合が計画されており、天水中学校に隣接する場所に、併設型の校舎建設が予定されています。

しかし、玉名市作成のハザードマップ及び過去の災害の発生事例から、予定地は今後も自然災害のリスクが高く、子どもたちが安心して学び、遊べる場所とは思えません。

過去、近隣地区では土砂崩れで多くの方が亡くなっており、これまでに当該地域は大雨時に何度も浸水しています。また、現在の天水中学校や支所のある場所は、湿地帯で穴を掘れば水が湧き出す場所で、中学校のグラウンドは何度も改修が行なわれています。当該地域は、二ノ岳、三ノ岳が目の前にあり、山の麓であることが分かります。構造的に、広大な山に降った雨は麓の低い所に集まります。大雨時に浸水するのはこのような要因によります。例えば、東日本大震災で津波被害を受けた地区では、同じような自然災害を防ぐために、利便性ではなく、災害のリスクが低い高台への移転が進められています。また、近隣市町村においても、長洲町の中学校建設予定地や和水町、山鹿市の小学校建設予定地では自然災害のリスクを評価し、見直しが行なわれ、より安全な場所が選定されています。

次に、玉水小学校は、玉水地区の唯一の公共施設であり、小学校としての機能だけでなく、地域と密接につながる地域住民のコミュニケーションの場、防災拠点等、人が集まる、多くの機能を持つ公共施設です。

1 か所に公共施設を集中させるのではなく、地域で必要とされるものは存続・発展させたいと多くの方が声を上げています。

また、将来の児童生徒数などを考慮すると、新設よりも既存校舎を改築して使用するのが、より適切な税金の使い方であると考えます。

以上のことから、子どもたちの将来、地域の将来のために、自然災害のリスクを評価し、また小学校の機能をしっかりと見つめ、統合場所及び新設校設置について見直しを求めます。